

令和7年度 摂食嚥下リハビリテーションコース

開催報告

令和7年9月20日(土)～11月22日(土)

オンデマンド配信

令和7年11月23日(日・祝)～24日(月・休)

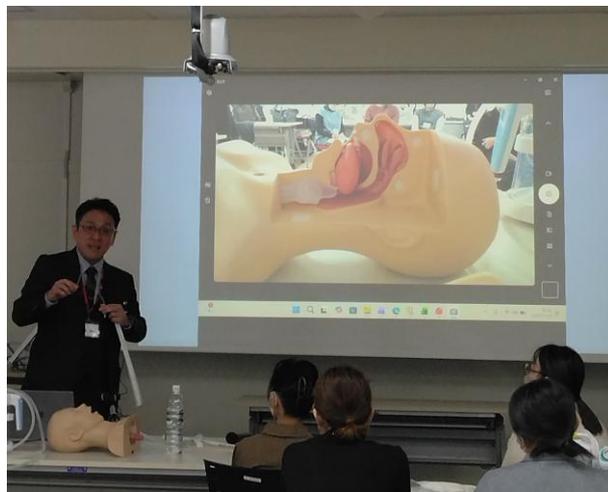
集合型研修

29時間のオンデマンド講義で、専門知識をじっくり習得

オンデマンド配信では、16項目に渡り計29時間の講義を配信した。視聴するだけでなく、集合型研修での相互演習に向けて、資料と共に配布された吸引カテーテルを用いた模擬演習を行うなど、複数の演習が含まれていた。

手技の確認と症例検討で、臨床に直結するスキルを磨く

演習による手技の確認および知識の深化を目的として、2日間のプログラムで実施した。1日目は「リスクマネジメント・経鼻吸引」および「摂食嚥下訓練」、2日目は「歯科衛生ケアプロセス（歯科衛生過程）」と認定テストを行った。「リスクマネジメント・経鼻吸引」では、喀痰吸引演習用人形を使用し、諸器官の解剖や手順を確認した後、吸引器



を用いて鼻腔から吸引カテーテルを挿入する相互演習を行い、患者体験も実施した。「摂食嚥下訓練」では、間接訓練の手技確認および直接訓練における介助方法について相互演習を行った。「歯科衛生ケアプロセス（歯科衛生過程）」では、その手法を用いたグループワークによる症例検討を行った。各演習では受講生からの質疑応答も多く、時間はタイトであったが、終始真剣かつ和気あいあいとした活気ある研修となった。

仲間との交流で深まる理解と、次へのモチベーション

事後アンケートでは、オンデマンド講義の満足度に加え、集合型研修の満足度および理解度についても、ほぼ100%に近い高評価が得られた。認定歯科衛生士として多職種と協働する機会の多い本分野において活動していくためには、常に知識のアップデートが求められる。本セミナーにおけるオンデマンド配信および集合型研修の講義内容は、日々の臨床を行う上での基礎となるものである。本認定歯科衛生士セミナーで得た知識と技術をもとに、今後も研鑽を重ね、より一層充実した認定歯科衛生士としての活躍が期待される。